

## 2030年、Hondaは世界で販売する四輪車の 3分の2を電動化することをめざします。

モビリティメーカーの重要な課題のひとつであるCO<sub>2</sub>削減のために、

Hondaはいち早く、さまざまな角度からクルマへの「電動化技術の導入」に取り組んできました。

この技術を採用入れた電動車\*のうち、ハイブリッド車については、

今後もさらなるラインアップの拡充をめざします。

またいわゆるゼロ・エミッション・ビークルも、燃料電池自動車(FCV)に続き、

電気自動車(EV)の本格普及に向けた開発を急ピッチですすすめています。

そしていま、電動車を世界に普及させるための大きな役割を担うと

私たちが考える一台、次世代プラグインハイブリッド車(PHEV)が誕生します。

ハイブリッド車の技術をさらに進化させ、従来のPHEVを大きく超えるEV走行性能を持つ

この一台を加えた電動車ラインアップを、世界各国・各地域のエネルギー事情や

インフラにあわせて開発・投入することにより、Hondaは2030年に、

四輪車グローバル販売台数の3分の2を電動化することを目標としています。

\*電動車：ハイブリッド車、燃料電池自動車(FCV)、電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド車(PHEV)